

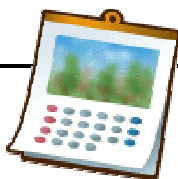
漢字の音読みと訓読み

漢字は中国からつたりましたが、元の読み方を「音読み」、
日本語を当てはめた読み方を「訓読み」といいます。

音読みは、ふつうカタカナで、
訓読みは、ふつうひらがなで書きます。

火曜日（音読み）

火をつける（訓読み）



歌手になる（音読み）

歌う（訓読み）



発言する（音読み）

「はい」と言う（訓読み）



花の球根（音読み）

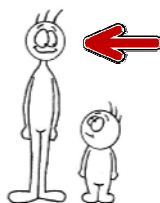
木の根（訓読み）



送りがない ①

つぎ
次のように、漢字のあとに、かなをつけて書くことばがありますが、
「い」「しい」「る」などのように、
かんじ
漢字のあとにつけるかなを「送りがない」といいます。

高い



うつく

美しい

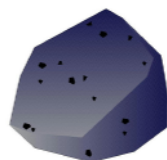


走る



「ほそい指」「こまかいすな」と書くときに、どちらも同じ「細」
かんじ
という漢字を使いますが、「細い」、「細かい」と書き分けます。

このように、送りがないは、漢字の読み方をはっきりさせる役目を
します。



おも

重い石だなあ。

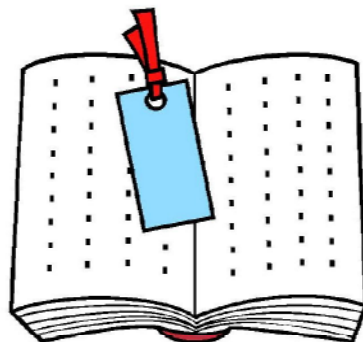


かさ

ふとんを重ねておく。

送りがな ②

^{おく}送りがなは、あとにつづくことばや、言いかたのちがいにによって、かわります。



- 本を読**ま**ない

- 本を読**む**【言いきるとき】

- 本を読**め**【^{めいれい}命令するとき】

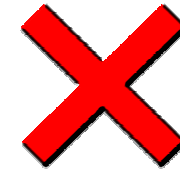
- 本を読**み**ます

- 本を読**も**う

- 本を読**ん**だ



送りがな ③



まちがえやすい^{おく}送りがなに気をつけましょう。

落る (×)

落ちる (○)



植る (×)

植える (○)



当たる (○)

当る (×)

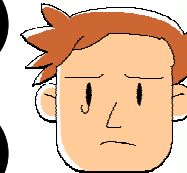


新しい (○)

新らしい (×)

悲む (×)

悲しむ (○)



助ける (○)

助すける (×)